

ISSN 2759-6923

大磯町郷土資料館年報 第 37 号

年 報

—令和 6 年度—

2025

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

は　じ　め　に

令和 6 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

令和 6 年度は、令和 5 年度に引き続き、新たに大磯町の魅力を発信するため、町内にアトリエを構えた画家の加山又造を取り上げ、企画展を実施しました。本事業は、前年度に続き、第二弾の企画となり、次年度に第三弾の企画を実施して完了する予定です。美術館ではない博物館で、美術分野を専門とする学芸員がいない中、画家を取り上げる展示を実施することは挑戦とも言えますが、企画を実施することにより、新たに関係者をつながりを持てたことは、当館にとってプラスにはたらく側面もあるように思います。

偶然ではありますが、絵本朝鮮通信使や川端誠氏の絵本原画とタイアップした企画も実施しました。いずれも関係者及び関係機関との連携が欠かせない企画であり、改正された博物館法に規定される連携事業を具現化したものとなりました。

なお、当館は令和 7 年 2 月 25 日に改めて博物館法登録簿に登録しました(神奈川県第 10 号)。改正博物館法による再登録となりますが、改めて申請手続きを進めたのは、当館が今後とも変わらず、地域資料の収集、保管、調査研究を進め、広く地域の情報を発信する機関として運営していくことを表明したいと考えたためです。引き続き、郷土資料館・旧吉田茂邸の活動に御理解・御協力をお願いいたします。

大磯町郷土資料館

目 次

〔事業報告〕

大磯町郷土資料館運営	4
・ 組織および職員/協議会/予算	4
・ 観覧者数	5
大磯町郷土資料館施設管理	6
・ 維持管理	6
・ 施設使用	7
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理	7
・ 維持管理/施設使用	7
大磯町郷土資料館学芸活動	7
・ 常設展示/企画展	7
・ ワークショップ	12
・ 研究活動	15
・ 博物館資料の整備	16
・ 刊行物/視察・見学対応/取材対応	17
・ レファレンス対応	18
・ ホームページを活用した情報発信	19
・ 博物館資料の収集・整備・利用	19
・ 文献資料収集状況	22
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動	23
・ ミニ企画展	23
・ 講演会	25
・ 調度品等の整備	25
・ 博物館資料の整備	25
・ 刊行物/視察・見学対応	26
・ 取材対応/レファレンス対応	26
学芸員の調査・研究・普及活動	27

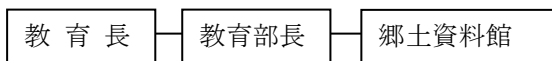
〔研究報告〕

大磯の左義長をめぐる基礎的研究—2024 年度の大北地区の動向を中心に— 真保 元	32
大隈重信の大磯別荘に関する一考察 長谷川 明香	54(5)
付表 新聞記事からみる大隈の動向（大磯別荘所有時期）	
【資料紹介】 東海道大磯宿小嶋本陣の「記憶簿」 富田 三紗子・荻野 龍子	58(1)
付表 「記憶簿」本編/付図 藩位置図	

事業報告

大磯町郷土資料館運営

■ 組織および職員



府川 陽一 大槻 直行 旧吉田茂邸利活用担当課長
館長 北水 慶一

主 査／学芸員 富田 三紗子
主 事／学芸員 鷹野 真子
主 事 補／学芸員 真保 元
主 事 補／学芸員 長谷川 明香

会計年度任用職員／学芸員 村田 聡美
会計年度任用職員／司 書 今井 沙穂里
会計年度任用職員 高山 優美、川下 多恵子（-R7. 3. 31）、佐藤 瑞香（-R7. 3. 31）、
西田 裕子（-R7. 3. 31）、花輪 弘枝（-R7. 3. 31）、鈴木 道子（-R6. 11. 30）、
石井 道朗（-R7. 3. 31）、加藤 さおり（-R7. 3. 31）、加藤 廣美
（R6. 4. 1-R7. 3. 31）、飯野 友紀（-R6. 11. 30）、吉野 美江
（R6. 12. 1-R7. 3. 31）、尾登 希実（R6. 12. 1-R7. 3. 31）

■ 協議会

<委員の構成>

- ・ 委 員 長／近藤 英夫（学識経験者）
- ・ 副委員長／西川 武臣（学識経験者）
- ・ 委 員／柴田 紳一（学識経験者）、古川 元也（学識経験者）、堤 智（学校教育関係者）、
中島 美江（社会教育関係者）、大倉 祥子（観光関係者）、曾根田 玲子（観光関係者）、
上野 広子（社会教育関係者、-R6. 6. 25）

<協議会の開催>

- ・ 第 1 回／令和 6 年 8 月 2 日 議題 1 令和 5 年度事業報告について
議題 2 令和 6 年度事業について
議題 3 旧吉田茂邸モデル実証事業について
- ・ 第 2 回／令和 6 年 11 月 6 日 議題 1 令和 6 年度事業について
議題 2 旧吉田茂邸モデル実証事業について
- ・ 第 3 回／令和 7 年 2 月 14 日 議題 1 令和 6 年度事業について
議題 2 令和 7 年度事業について
議題 3 旧吉田茂邸モデル実証事業について

■ 予算

<当初予算の推移>

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
金額	92,462 千円	88,987 千円	133,457 千円	119,677 千円	72,460 千円	86,989 千円

<令和 6 年度歳入決算額（一部のみ）>

- ・ 旧吉田茂邸観覧料 10,738,890 円 ・ 吉田茂関連製品売上代 306,900 円
- ・ 旧吉田茂邸刊行物売上代 148,970 円 ・ 郷土資料館刊行物売上代 285,540 円
- ・ 郷土資料館観覧料 307,800 円 ・ 「わたしたちの大磯の歴史」売上代 66,000 円

＜吉田茂関連製品販売実績＞ 単位：個

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
バッグ (高マクラ)	1	1	1	0	0	1	0	1	2	1	2	0	10
バッグ (子沢山)	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	6
バッグ (旧吉田茂邸)	3	0	1	0	10	1	5	2	1	0	2	1	26
ファイル	0 (0)	18 (0)	14 (6)	14 (5)	10 (4)	6 (0)	23 (5)	22 (10)	13 (4)	10 (2)	7 (0)	9 (4)	146 (40)
チャーム	5	4	9	2	6	4	3	2	3	1	4	4	47
根付け	4	3	8	3	5	0	12	2	1	1	14	9	62
手拭い	7	4	7	2	16	3	17	7	6	11	6	4	90

※ファイルのうち、括弧書きの数字は郷土資料館販売分。

＜令和6年度歳出決算額＞

事業	郷土資料館 運営事務事業	郷土資料館 維持管理事業	郷土資料館 学芸活動事業	教育普及・ 企画展事業	
金額	1,551,993円	12,993,324円	3,048,684円	837,299円	
事業	旧吉田茂邸 運営事務事業	旧吉田茂邸 維持管理事業	旧吉田茂邸 学芸活動事業	大磯ゆかりの画家による アトリエ文化発信事業	計
金額	9,137,793円	8,037,799円	355,765円	2,938,285円	38,900,942円

□職員給与（5人分） 38,350,622円 ■歳出合計 77,251,564円

■ 観覧者数

＜郷土資料館観覧者数の推移＞ 単位：人、日

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計（昭和63年～）
入館者数	11,053	24,091	24,719	22,774	22,093	1,086,899
1日平均／開館日数	64／173	94／257	83／297	78／293	74／298	107／10,190

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に続き令和2年6月15日まで、令和3年1月9日から3月21日まで臨時休館

※令和3年度は令和3年7月3日を大雨のため、7月6日から11日までは館内燻蒸のため、8月24日から9月30日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

※令和5年度は令和5年7月4日から9日までは館内燻蒸のため、臨時休館

※令和6年度は令和6年8月30日を台風10号に伴う大雨のため、臨時休館

＜郷土資料館の月別観覧者数＞ 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入館者数	1,492	2,272	1,631	1,420	1,211	1,153	
1日平均	62	87	63	57	48	48	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,061	2,674	1,479	1,958	1,962	2,780	22,093
1日平均	79	103	64	85	82	107	74

＜旧吉田茂邸観覧者数の推移＞ 単位：人、日

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計（平成29年～）
入館者数	11,270	16,175	23,481	22,051	23,720	302,377
1日平均／開館日数	70／160	62／263	79／297	74／299	80／298	138／2,190

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に続き令和2年6月15日まで、令和3年1月9日から3月21日まで臨時休館

※令和3年度は令和3年7月3日を大雨のため、8月24日から9月30日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

※令和6年度は令和6年8月30日を台風10号に伴う大雨のため、臨時休館

＜旧吉田茂邸（郷土資料館別館）の月別観覧者数＞ 単位：人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
観覧者数	大人(個人)	1,411	2,317	1,158	842	679	1,053
	大人(団体)	74	284	375	58	35	403
	中学生・高校生(個人)	31	50	14	14	37	19
	中学生・高校生(団体)	0	0	0	0	0	0
	小学生以下	34	82	24	19	45	47
	障がい者／介護者	57	84	50	29	40	33
	減免対象者	47	38	163	47	37	15
計		1,654	2,855	1,784	1,009	873	1,570
1 日 平 均		69	110	69	40	35	65

		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
観覧者数	大人(個人)	1,565	1,806	1,360	1,205	1,589	1,613	16,598
	大人(団体)	256	554	221	393	1,378	763	4,794
	中学生・高校生(個人)	29	19	21	15	30	48	327
	中学生・高校生(団体)	0	0	0	0	0	0	0
	小学生以下	17	45	78	35	53	62	541
	障がい者／介護者	114	93	72	71	64	76	783
	減免対象者	6	65	66	32	109	52	677
計		1,987	2,582	1,818	1,751	3,223	2,614	23,720
1 日 平 均		76	99	79	76	134	101	80

大磯町郷土資料館施設管理

■ 維持管理

＜委託業務＞

- ・清掃委託／（株）日装
- ・警備委託／（株）全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー（株）横浜営業所
- ・敷地管理委託／（財）神奈川県公園協会
- ・中央監視装置保守点検委託／日本電技（株）横浜支店
- ・空調機器給水設備保守委託／（株）郵生
- ・自家用電気工作物保守委託／荻野電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／（株）足柄防災
- ・自動ドア保守委託／（株）神奈川ナブコ 厚木支店

＜修繕＞

- ・補修工作室漏水修繕工事／（有）岩田土木管工
- ・外部機械室水栓柱修繕／（有）岩田土木管工
- ・消火水槽端子盤交換／（株）足柄防災
- ・常設展示映像プレイヤー修繕／（株）丹青社
- ・中庭庇修繕／（株）大創建設
- ・園内灯修繕／（株）興電社
- ・洗面台排水詰まり修繕／（有）岩田土木管工

■ 施設使用

＜施設使用月別件数＞ 単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	0	2	2	3	5	2	2	2	0	1	0	3	22

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理

■ 維持管理

＜委託業務＞

- ・清掃委託／高橋産業（株）
- ・警備委託／（株）全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／（株）日立ビルシステム 横浜支社
- ・空調設備保守点検委託／（株）郵生
- ・消防用設備保守委託／モリタ宮田工業（株）
- ・敷地管理委託／（財）神奈川県公園協会

＜修繕＞

- ・障子張替工事／（株）大創建設

■ 施設使用

＜施設使用月別件数＞ 単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	5
食堂	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
金の間	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
全館	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

大磯町郷土資料館学芸活動

■ 常設展示

民俗展示「大磯の漁業」、「日々の暮らし」増設

期 日／年間

趣 旨／平成28年（2016）のリニューアル以来、民俗展示は祭礼を紹介する「海に願う祭り・大地に託す祭り」、年中行事や民俗信仰を紹介する「祈りのかたち」の2つをテーマとしてきた。大磯町やその周辺地域の代表的な「ハレ」の習俗を中心に湘南地域の生活を把握できる展示といえる。一方、民俗学的には人々の暮らしは「ケ」つまりは日々の暮らしも重要であり、ハレとケの往還の中で人々は暮らしを営んできたことが明らかにされてきた。リニューアル後の当館の常設展示はハレのみに焦点を当てており、日常生活の様子をうかがうことができないことが課題であった。民俗資料の所蔵数も、信仰や祭礼の道具といったハレのものよりも日常生活で使う衣食住や生業の道具の方が多い。そのため、当館のテーマである「湘南の丘陵と海」にちなみ



「大磯の漁業」のブロック及び衣食住に重点を置いた「日々の暮らし」のブロックを設けた。

内 容／「大磯の漁業」は従来廻廊等に展示されていたハコブネの上に、企画展「川端誠さん絵本原画と民具の世界」で展示した漁具を中心に 20 点を展示した。あわせて大磯で行われてきた漁業である定置網漁や一本釣りの様子などをパネルで紹介し、大磯の漁業を概略的に把握できるようにした。「日々の暮らし」では、いわゆる「昔の道具」展で展示される衣食住の道具を 17 点展示した。従来、昔の道具の民俗展示は囲炉裏を中心とした電気が登場する以前の暮らしを紹介するものがみられるが、来館者によっては電化された暮らしで生活してきた方も多く、電化されていないころの暮らしの道具をそのまま展示しても、日々の暮らしの道具であると直ちに理解することは難しい。そのため、今回の展示替えでは冷蔵庫やテレビ、洗濯機といったいわゆる三種の神器をはじめとする高度経済成長期の道具を中心に展示した。なお、「祈りのかたち」は、従来空白状態となっていた常設展示室中央にある船形の展示台に移設した。

(担 当) 真保

■ 企画展

春季企画展「朝鮮通信使がやって来た！～絵本原画と古文書に見る朝鮮通信使～」

期 間／令和 6 年 4 月 27 日（土）～6 月 16 日（日）

開場日数／43 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 80 点

料 金／無料

協 力／「嶋屋」友の会

観覧者数／3,628 人

趣 旨／「嶋屋」友の会発行の『絵本朝鮮通信使』の原画を紹介するとともに、江戸時代の朝鮮通信使が当時の社会にどのような影響をもたらしたのか、主に大磯宿での対応を紹介することによって考察する。大磯町は、江戸時代、東海道の宿場町として賑わったことは知られているが、朝鮮通信使の通行は、その一端を示す事例とも言える。本展では、大磯の宿場町としての役割を、朝鮮通信使という、大磯では今まであまり注目されていなかった歴史事象に着目して紹介する。

内 容／『絵本朝鮮通信使』の原画の他、大磯宿に関する朝鮮通信使関係資料を展示し、大磯宿における朝鮮通信使関係の事柄を紹介した。

(1) 古文書に見る大磯の朝鮮通信使

展示ケース A、B に、明石藩の朝鮮通信使接待に関する資料（兵庫県立明石高等学校所蔵）、明和元年度の接待に関する資料（県立公文書館所蔵）等を展示し、それらの記録からわかる大磯宿における接待の様子を紹介した。合わせて、昇降台に大磯宿の模型を展示し、大磯宿の概要について解説した。

(2) 『絵本朝鮮通信使』原画

壁面 1 及び壁面 2 にて、『絵本朝鮮通信使』の原画を展示した。また、昇降台の周りに設置した可動式展示ケース内に、絵本の下絵を展示し、関連資料として唐人人形も紹介した。

【関連行事】

トークイベント

日 時／令和 6 年 6 月 16 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／大磯町文化財専門委員 細井 守 氏、「嶋屋」友の会 柏山 泰訓 氏、
イラストレーター 綱本 武雄 氏

参加者数／79 人

内 容／細井氏から「大磯宿における朝鮮通信使の接待」と題した講演をいただき、柏山氏及び綱本氏から「絵本が語る朝鮮通信使」と題して絵本の作成過程についてお話をいただいた。

(担 当) 富田



企画展「川端誠さん絵本原画と民具の世界」

期 間／令和6年7月13日（土）～7月31日（水）

開場日数／16日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約50点

料 金／無料

共 催／図書館をサポートする会大きなうち、町立図書館

観覧者数／1,049人

趣 旨／絵本作家川端誠氏の絵本原画とともに、絵本に登場する民具を中心に大磯の民具を展示する。

内 容／川端誠著『お化けの海水浴』の原画及び、原画に登場する民具を展示した。合わせて、大磯の海水浴場や漁業の様子を紹介するため、関係の資料（イタゴやチゲ、ビクなど）を展示した。

〔関連行事〕

絵本作家川端誠さん講演会「資料とともに絵本を描く」×郷土資料館学芸員による展示資料解説

日 時／令和6年7月27日（土）13時00分～15時00分

場 所／郷土資料館 研修室・企画展示室

講 師／絵本作家 川端 誠 氏、当館学芸員 真保 元

参加者数／39人

内 容／川端氏に絵本の制作過程に関するお話をいただき、
展示を担当した当館学芸員が展示解説を行った。

（担 当）真保・長谷川



企画展「加山又造と大磯」

期 間／令和6年10月19日（土）～11月17日（日）

開場日数／25日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約100点

料 金／大人500円、中高生200円

協 力／（有）加山

観覧者数／721人

趣 旨／日本画家の加山又造は、1989（平成元）年に、大磯にアトリエを構えた。このアトリエは、長男で陶芸家の加山哲也の工房でもあり、大磯は家族と共に創作活動を行う場でもあった。本展では家族や大磯での画家との交流に注目し、関連作品や、作品の製作に使われた画材等を紹介する。

内 容／主に大磯で描かれた作品を中心に展示した。また、作品の製作に使用された画材もあわせて紹介した。

（1）加山又造と大磯

大磯にアトリエを構えた経緯などを解説パネルで紹介した。

（2）加山又造と印刷文化「堀文子の導き」

加山又造の師で大磯にアトリエを構えた堀文子は、加山に挿し絵などの仕事を紹介した。加山が挿し絵を描いた絵本などを、実物や原画を展示することによって紹介した。

（3）加山又造の大磯での日々「自然の中での暮らし—親子共作の時間」

大磯で描かれた銅版画作品や、長男で陶芸家の加山哲也と共に製作した作品を展示した。

（4）加山又造のカラス「心象の表現—自画像としての図像」

加山又造が長く題材としたカラスの銅版画作品を紹介した。

その他、愛犬や愛猫を描いたコンピューターグラフィックスの作品も紹介した。

〔関連行事〕

対談

日 時／令和6年11月9日（土）13時30分～15時30分

場 所／郷土資料館 研修室



講師／加山 哲也 氏、安田 由紀夫 氏、元高島屋美術部顧問 中澤 一雄 氏（司会）

参加者数／67 人

内 容／加山又造の御子息・加山哲也氏と安田鞆彦の御令孫・安田由紀夫氏の対談形式で、加山又造の創作活動や大磯に展開した画家との交流、家族から見た画家たちの素顔を紹介した。

〔関連商品の販売〕

（有）加山が販売する関連商品の販売を受託した。クリアファイル、付箋、一筆箋の販売を受託し、総点数 147 点、79,855 円（内町収入分は 15,890 円）の売上げがあった。

（担 当）北水・富田

大磯町教育委員会・公益財団法人かながわ考古学財団普及連携事業

企画展「縄文後期の配石と墓域 -大磯町石神台遺跡を中心に-」

期 間／令和 7 年 1 月 18 日（土）～2 月 2 日（日）

開場日数／14 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 130 点

料 金／無料

協 力／公益財団法人かながわ考古学財団

観覧者数／1,147 人

趣 旨／埋蔵文化財の発掘等調査成果をもとにした文化財保護や普及活動を通して、地域文化に寄与することを目的として、大磯町での発掘調査の成果に加え、かながわ考古学財団の調査成果を紹介する。普段みることのできない遺物等の資料を実見できる機会をつくる。

内 容／大磯町の石神台に所在する石神台遺跡の調査成果を中心に、縄文時代後期の配石遺構や土坑墓を写真で紹介し、遺跡から出土した遺物を展示した。かながわ考古学財団が調査した、伊勢原市や秦野市の同様の遺跡も紹介した。

＜紹介した遺跡＞石神台遺跡（大磯町）、大磯小学校遺跡（同）、子易・中川原遺跡（伊勢原市）、上粕屋・秋山遺跡（同）、稻荷木遺跡（秦野市）

〔関連行事〕

講演会

日 時／令和 7 年 1 月 26 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／副町長・公益財団法人かながわ考古学財団理事 鈴木 一男 氏、
公益財団法人かながわ考古学財団 野坂 知広 氏

参加者数／70 人

内 容／展示内容に関連して大磯町の石神台遺跡及びかながわ考古学財団が調査した遺跡について、講話した。

（担 当）國見



春季企画展「大磯のひな人形」

期 間／令和 7 年 3 月 1 日（土）～5 月 11 日（日）

開場日数／60 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 20 セット

料 金／無料

観覧者数／6,201 人

趣 旨／3 月 3 日は桃の節供とよばれ、ひな祭りが行われ、ひな人形が飾られる。桃の節供が何か、なぜひな人形を飾るのか、大磯ならではのひな祭りのあり方を、郷土資料館が所蔵するひな人形を展示することによって考察する。また、ひな人形だけでなく、大磯で伝わるつるし飾りである御船祭のオサルサンや、現在の住宅事情にあわせた私たちの暮らしの中での等身大のひな祭りのあり方も紹介する。企画展を通して、来館者が、



大磯のさまざまなひな人形や、年中行事に触れることを目的とする。
内 容／当館所蔵のひな人形を中心に、民俗学における年中行事、節供や人形を伴う大磯を含めた近隣地域の習俗を紹介した。

(1) 年中行事と桃の節供

民俗学的には桃の節供は年中行事に分類されるものであり、年中行事および節供という言葉、桃の節供について解説パネルを中心に展示した。

(2) 民俗地図と桃の節供

桃の節供の行事内容を文化庁刊行の『日本民俗地図』や大磯町史、平塚市史、二宮町民俗調査報告書などをもとに、全国（マクロ）・近隣（メゾ）・大磯町内（ミクロ）のレベルでわけて展示した。

(3) ひな人形の諸相

当館所蔵のひな人形を、江戸期から昭和期にかけて親王飾りの形で通史的に展示した。

その他、番外編として町指定民俗資料（無形民俗文化財）である大磯御船祭の船形山車に飾られるつるし飾り、オサルサンを展示した。

〔関連行事〕

展示解説

日 時／①令和7年3月15日（土） ②4月12日（土） ③5月11日（日）

いずれも14時00分～15時00分頃

場 所／郷土資料館 企画展示室

参加者数／①7人 ②20人 ③20人

内 容／展示担当者が展示を解説した。

城山庵におけるひな人形の展示

日 時／令和7年2月21日（金）～3月27日（木）

場 所／県立大磯城山公園 城山庵

内 容／茶室「城山庵」において郷土資料館が所蔵する七段飾りを展示した。

つるし雛の展示

日 時／令和7年3月1日（土）～4月30日（水）

場 所／郷土資料館・旧吉田茂邸

内 容／市民が作成したつるし雛を展示した。

（担 当）真保・長谷川

ミニ企画展「資料と証言に見る大磯と戦争」

期 間／令和6年8月2日（金）～9月29日（日）

開場日数／50日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／約15点

料 金／無料

観覧者数／2,364人

趣 旨／令和3年度の事業としてまとめた「資料と証言に見る大磯と戦争」のポスターを展示し、戦争中の大磯の様子を、特に町民に対して伝える。

内 容／「資料と証言に見る大磯と戦争」ポスター9枚を、郷土資料館廻廊に掲示した。また、関連資料として、郷土資料館が所蔵する戦争関係資料数点を展示ケース内にて展示した。

（担 当）富田・長谷川

ミニ企画展「のぞいてみよう海の中～相模湾の色とりどりの命～」

期 間／令和6年10月2日（水）～令和7年1月5日（日）

開場日数／76日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／9点

料 金／無料

観覧者数／6,332人

趣 旨／相模湾に生息する色とりどりの生物を写真で紹介する。

内 容／「相模湾に生息する「サンゴの仲間」「サンゴに隠れる生物」「魚類」「海藻」「海藻に隠れる生物」「ウミウシ類」「甲殻類」「不思議な生き物」の写真を、ポスターにまとめて掲示した。

(担 当) 高山

明治記念大磯邸園東地区暫定公開記念ミニ企画展「大隈・陸奥・古河と大磯」

期 間／令和7年1月7日(火)～6月29日(日)

開場日数／148日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／9点

料 金／無料

観覧者数／12,557人

趣 旨／令和6年11月23日から明治記念大磯邸園の東地区(旧大隈重信別邸・旧陸奥宗光別邸)の建物公開が始まり、暫定公開となったことをきっかけとして、大隈・陸奥・古河の3人を取り上げ、彼らの事績と大磯の別荘について紹介する。

内 容／大隈・陸奥・古河の人物及び大磯の別邸を紹介するポスターを掲示した。

(担 当) 長谷川

大磯自然発見コーナー

趣 旨／大磯町内で採集できる自然資料などを館内に展示し、自然観察の参考となる情報を提供する。自然環境に関心を高めるきっかけつくりにつなげる。

〔第1回〕「高麗山で咲く花たち ―春―」

期 間／令和6年5月3日(金・祝)～10月17日(木)

出品点数／15点

内 容／タブノキやスダジイを中心に多様な草木が生育し、季節によって色とりどりの花を見ることが出来る町内の高麗山で撮影した花の写真を展示し、実際に見られる花を紹介する。

〔第2回〕「高麗山で咲く花たち ―夏―」

期 間／令和6年10月18日(金)～令和7年1月21日(火)

出品点数／15点

内 容／6～8月の夏に高麗山で見ることのできた花について、写真を展示することによって紹介する。

〔第3回〕「ヘビ ―実はこんなにいるんです―」

期 間／令和7年1月22日(水)～9月9日(火)

出品点数／9点

内 容／大磯町で見られるヘビの標本や写真を紹介する。

(担 当) 高山・村田

■ ワークショップ

＜古文書裏打クラブ＞

期 日／令和6年4月20日(土)、5月18日(土)、6月15日(土)、7月20日(土)、8月17日(土)、9月21日(土)、10月19日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)、令和7年1月18日(土)、2月15日(土)、3月15日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／15人

活動内容／裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行うワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書などの資料化を進める。なお、会員は随時募集し、本年度は2名が退会し、2名が入会した。

参加者数／ 単位：人

開催日	4/20	5/18	6/15	7/20	8/17	9/21	10/19	11/16	12/21	1/18	2/15	3/15	計
参加者数	10	14	9	13	8	11	13	9	12	9	11	12	131

(担 当) 富田・鷹野

＜古文書解読クラブ＞

土曜日の会

期 日／令和6年4月7日（日）、5月4日（土）、6月1日（土）、7月6日（土）、8月3日（土）、9月7日（土）、10月5日（土）、11月2日（土）、12月7日（土）、令和7年1月11日（土）、2月1日（土）、3月1日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／11人

活動内容／郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成24年度から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。町指定文化財である大磯宿小島本陣資料の休泊帳を解読し、翻訳文を刊行することを目指している。なお、会員は随時募集し、本年度は2名が退会し、2名が入会した。

参加者数／ 単位：人

開 催 日	4/7	5/4	6/1	7/6	8/3	9/7	10/5	11/2	12/7	1/11	2/1	3/1	計
参加者数	6	5	6	7	7	5	7	5	4	7	7	7	73

金曜日の会

期 日／毎週金曜日を原則として実施

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／5人

活動内容／毎月第一土曜日を原則として活動する古文書解読クラブの会員有志によって始まった活動。本年度から金曜日の会として独立した。大正期の大磯町助役が作成した雑書綴りの目録を作成している。

参加者数／ 単位：回、人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実施回数	4	5	3	4	2	3	3	3	4
参加者数	15	17	14	18	10	14	12	10	12
	1月	2月	3月	合計					
実施回数	4	4	3	42					
参加者数	15	20	15	172					

（担 当）富田・鷹野

＜写真整理クラブ＞

期 日／令和6年4月11日（木）・25日（木）、5月9日（木）・23日（木）、6月13日（木）・27日（木）、7月11日（木）・25日（木）、8月8日（木）・22日（木）、9月12日（木）・26日（木）、10月10日（木）・24日（木）、11月14日（木）・28日（木）、12月12日（木）・26日（木）、令和7年1月9日（木）・23日（木）、2月13日（木）・27日（木）、3月13日（木）・27日（木）

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／4人

活動内容／郷土資料館が所蔵する写真を会員と共に整理し、資料の活用を図ることを目的として、平成28年度から毎月第二、第四日曜日を原則として活動を始めた。今年度も引き続き、町広報担当者が撮影した写真のフィルムをスキャンし、デジタル化する。また、必要に応じてフィルムの清掃を行う。ネガフィルムのアルバム全28冊の内、19冊目（資料番号N19）まで、フィルムをデジタル化した。なお、令和5年度から参加者及び担当者の都合により原則第二、第四木曜日に活動することになった。本年度は会員を募集しなかった。

参加者数／ 単位：人

開催日	4/11	4/25	5/9	5/23	6/13	6/27	7/11	7/25	8/8
参加者数	3	3	3	3	4	4	4	3	3
開催日	8/22	9/12	9/26	10/10	10/24	11/14	11/28	12/12	12/26
参加者数	4	4	4	3	5	3	3	4	3
開催日	1/9	1/23	2/13	2/27	3/13	3/27	計		
参加者数	3	2	4	3	4	4	83		

(担当) 富田

<海の教室>

特定の学問分野にかかわらず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成12年度から実施している。

「海を学ぼう！楽しい海藻おしばづくり」

期 日／令和6年7月24日（水）

場 所／郷土資料館 研修室

参加者数／40人

	大人	子ども
午前	9	13
午後	5	13
計	14	26

内 容／現在全国的に磯焼けなど藻場が減少している。海藻の大切さ、海の森の大切さ、陸の森と海の森のつながりなど、DVD教材を使用し、海の環境保全の大切さを解説する。その後照ヶ崎海岸をはじめ神奈川県県の浜辺で拾った海藻を使った海藻おしばづくりを行う。

(担当) 高山

「海の漂着物で君だけの作品を作ろう！」

期 日／令和6年8月8日（木）

場 所／郷土資料館 研修室

参加者数／17人（大人3人、子ども14人）

内 容／漂着物には自然のもの、人工のもの、海のもの、陸のものなどがある。漂着物を知ることと海の中には陸からでは見ることが出来ない生き物がいることや人の関わった様々なものが流れ着くことを知ることが出来る。人間が出した物が自然界に影響を与えていることを知り、身近な海の環境に目を向けるきっかけとする。また、実際に大磯の海岸で拾うことのできる漂着物を使って作品を作る。

(担当) 村田

<町内施設クイズラリー>

「いそべえとあおみからの挑戦状！～おいそ夏休みクイズラリー～」

期 日／令和6年7月20日（土）～8月31日（土）

場 所／郷土資料館・旧吉田茂邸・県立大磯城山公園・鳴立庵・旧島崎藤村邸

参加者数／9人（上級4人、初級5人）

内 容／子ども及び子育て世代への町に対する興味関心や文化施設の利用を促すことを目的として、町内施設を利用した夏季休業中の子ども向け周遊クイズラリーを実施する。クイズを全て回答した参加者には、景品として缶バッジを郷土資料館にてお渡しする。

(担当) 長谷川・真保

<甲冑ワークショップ>

「甲冑を着てみよう！～日本の甲冑のお話と模擬甲冑の試着～」

期 日／令和6年10月12日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／神奈川県立歴史博物館 梯 弘人 氏

協力者／北條手作り甲冑隊 荻野 龍子 氏、
駒澤大学大学院修士修了・日本中世史専攻 高垣 元 氏

参加者数／19 人（大人 14 人、子ども 5 人）

内 容／郷土資料館所蔵の伊藤博文から大磯小学校へ贈られたと伝わる甲冑を題材として、日本で
使用された甲冑の仕組みを紹介する講座を行い、実際に模擬甲冑（手作り甲冑）を試着す
ることによって、甲冑に関する理解を深めた。

（担 当）富田・長谷川

■ 研究活動

民俗調査

内 容／コロナ禍を経て、町内各地の祭礼等の民俗行事が再開されつつある。民俗行事は時代ごと
の影響を受けやすく、現在の様態の記録が急務であると考え、当該年度は祭礼などの無形
民俗文化財（未指定を含む）を中心に調査を行った。

調査先	内容	月日
高麗地区	高麗の山神輿	4 月 20 日、21 日
国府地区	相模国府祭	4 月 29 日～5 月 6 日
国府新宿地区	ひな人形	5 月 14 日
大磯南下町地区	大漁旗	6 月 7 日
大磯山王町地区	生活道具	6 月 12 日
国府新宿地区	ひな人形	6 月 14 日
大磯山王町地区	民家	6 月 15 日
大磯北下町・南下町地区	御船祭	6 月 22 日～23 日
国府新宿地区	廻り地蔵・年中行事	6 月 26 日
国府新宿地区	八坂神社祭礼	6 月 29 日～30 日
国府中丸地区	八坂神社祭礼	7 月 6 日～7 日
大磯南下町地区	漁具	7 月 13 日
大磯地区	御船祭	7 月 13 日～14 日
西小磯東地区	七夕行事	7 月 21 日、8 月 1 日・5 日～7 日
西小磯西地区	七夕行事	8 月 2 日～4 日
西小磯西・国府新宿地区	盆行事	8 月 14 日
国府中丸地区	盆行事	8 月 16 日
国府中丸地区	身代り地蔵	8 月 24 日
大磯南下町地区	漁具	9 月 3 日
国府新宿地区	六所神社櫛祭	9 月 8 日
西小磯東地区	宇賀神社祭礼	9 月 8 日
二宮町二宮地区	知足寺数珠繰	10 月 10 日・17 日
西小磯西地区	自然環境	10 月 18 日
国府中丸地区	身代り地蔵	10 月 24 日
大磯山王町地区	生活道具	10 月 30 日
国府中丸地区	身代り地蔵	12 月 3 日
東小磯地区	左義長	12 月 6 日
大磯北下町・南下町地区	左義長	12 月 8 日
小田原市田島地区	年中行事	12 月 10 日
大磯北下町地区	左義長	12 月 15 日
大磯南本町地区	年中行事	12 月 15 日
大磯山王町地区	民俗信仰	12 月 27 日
高麗地区	年中行事	1 月 2 日

調査先	内容	月日
大磯地区	左義長	1月11日～13日・30日
国府中丸地区	身代り地蔵	1月24日、2月4日
西小磯東地区	七夕行事	2月9日
生沢地区	自然環境	2月13日
平塚市岡崎地区	年中行事	2月20日
西小磯地区	白岩神社祭礼	3月1日・2日
虫窪地区	人生儀礼	3月4日
大磯山王町地区	漁具	3月5日
国府新宿地区	年中行事	3月13日
大磯山王町地区	民俗信仰	3月14日
大磯茶屋町地区	西行祭	3月30日

(担 当) 真保

■ 博物館資料の整備

<資料整備委託>

映像フィルムデジタル化委託

業務内容／8ミリフィルム「高麗虫送り行事」のデジタル化

契約期間／令和7年2月21日～3月31日

請 負 者／アスプレス (株)

<所蔵資料の整理>

歴史

文献資料（古文書等）

- ・適宜、文献資料として整理した資料の目録を追加した。

受入番号	資料群名	点数	受入番号	資料群名	点数
2018-1101 他	旧大磯町行政資料	3,441	2021-0902	水産関係資料	5
2019-0105	古新聞	2	2021-1002	安田由紀夫氏旧蔵資料	5
2019-0201	平塚西銀座サービス店 チラシ	1	2021-1204	内田もと子氏旧蔵資料	14
2019-0903	小林良子家旧蔵資料	59	2023-0603	西海誠家旧蔵資料	226
2019-1001	高麗権現由来記	1	2023-0901	大正大震災誌	1
2020-0208	戦争関係資料	26	2024-0101	学童手帳	1
2020-1006	大磯小学校関係資料	67	2024-0803	古新聞	5
2021-0801	内田もと子氏旧蔵資料	17	2024-1201	大正舎関係資料	2
2021-0802	国府小学校関係資料	20	2025-0201	古正政五郎氏旧蔵資料	40

コレクション資料

- ・吉田茂関係資料を新たに71点受け入れ、所蔵点数が4,826点になった。
- ・城山荘関係資料を新たに1点受け入れ、所蔵点数が240点になった。
- ・嶋立庵関係資料を新たに128点受け入れ、所蔵点数が1,964点になった。

民俗

- ・民俗資料の資料情報を、表計算ソフトを活用して新たにまとめ直した。
- ・資料整理の方法を見直し、新たな整理方法で所蔵資料の再整理を行った。
- ・資料受入台帳で確認できる5,829件（22,195点）の内、321件（1,337点）が終了した。
- ・資料受入台帳で確認できる5,829件中、59件が一部散逸・追加処理が必要な未確定状態となっていることが判明した。

(担 当) 富田・鷹野・真保・長谷川

■ 刊行物

<図録・冊子>

・大磯明細全図	B2判	500部（令和6年6月刊）
・企画展「加山又造と大磯」図録	A4判32頁	800部（令和6年10月刊）
・資料館資料23『大磯町助役日誌』（大正九年）	A4判80頁	500部（令和7年3月刊）

<チラシ・パンフレット>

・春季企画展「朝鮮通信使がやって来た！」チラシ	A4判両面	10,000部（令和6年4月刊）
・クイズラリー ラリー用紙	A4判両面	2,000部（令和6年6月刊）
・企画展「加山又造と大磯」チラシ	A4判両面	10,000部（令和6年9月刊）
・企画展「加山又造と大磯」ポスター	B2判片面	300部（令和6年9月刊）
・春季企画展「大磯のひな人形」チラシ	A4判両面	10,000部（令和7年2月刊）
・春季企画展「大磯のひな人形」パンフレット	A4判8頁	2,000部（令和7年3月刊）

■ 視察・見学対応

<視察・見学の月別件数> 単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視 察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見 学	0	4	1	3	0	0	1	2	1	0	2	2	16

<見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・国府小学校生沢分校／5月2日／3人
- ・川崎市立日本民家園／5月8日／2人（真保）
- ・国府小学校2年生／5月16日／101人（富田・真保・長谷川）
- ・成城大学大学院／5月26日／4人（真保）
- ・平塚市博物館ほか／6月8日／2人（真保）
- ・町立学校新採用等教職員夏季研修会／7月26日／15人（富田）
- ・川崎市立日本民家園／7月30日／2人（真保）
- ・成城大学大学院／7月30日／1人（真保）
- ・川崎市立日本民家園／10月9日／6人（真保）
- ・個人／11月10日／1人（真保）
- ・湘南大庭公民館サークル連絡会／11月30日／15人（長谷川）
- ・松蔭大学／12月7日／10人（北水）
- ・個人／3月9日／1人（真保）
- ・個人／3月22日／1人（真保）
- ・外務省外交史料館／3月18日／2人（北水）

■ 取材対応

<刊行物>

- ・神奈川新聞 令和6年4月18日対応「相模国府について」（國見）
- ・神奈川新聞 令和6年5月2日掲載「朝鮮通信使ひもとく」（富田）
- ・タウンニュース 令和6年5月17日掲載「朝鮮通信使から見る宿場」（富田）
- ・東京新聞 令和6年6月3日掲載「企画展『朝鮮通信使がやって来た！』（富田）
- ・タウンニュース 令和6年7月5日掲載「大磯町と渋沢栄一について」（富田）
- ・東京新聞 令和6年7月15日掲載「企画展『川端誠さん絵本原画と民具の世界』（真保）
- ・神奈川新聞 令和6年7月16日取材「企画展『川端誠さん絵本原画と民具の世界』（真保）
- ・東京新聞 令和6年8月13日掲載「空襲後の平塚語る資料」（富田）
- ・神奈川新聞 令和6年9月3日掲載「甲冑着付け体験来月イベント」（長谷川）

- ・神奈川新聞 令和6年11月14日掲載「憧れの地で新境地開拓『加山又造と大磯』」(富田)
- ・タウンニュース 令和7年1月1日掲載「『巳』にゆかり 平塚・大磯にも」(真保)
- ・東京新聞 令和7年1月24日対応「企画展『縄文後期の配石と墓域』の紹介」(國見)
- ・タウンニュース 令和7年3月21日掲載「西行祭で遺徳偲ぶ」(富田)

<テレビ・ラジオ>

- ・ケーブルテレビ『情報カフェ！湘南館ワイド(令和6年5月21日初回放送)』『春季企画展『朝鮮通信使がやって来た！』紹介」(富田)
- ・FMしろいし 令和6年5月24日放送「電波で繋ぐ北前船(『朝鮮通信使がやって来た！』の紹介)」(富田)
- ・ケーブルテレビ『情報カフェ！湘南館ワイド(令和6年8月13日初回放送)』『ミニ企画展『資料と証言に見る大磯と戦争』紹介」(富田)
- ・テレビ朝日『スーパーJチャンネル(令和6年8月22日放送)』『Jの追跡『湘南ってどこ？』」(富田)
- ・ケーブルテレビ『情報カフェ！湘南館ワイド(令和6年10月15日初回放送)』『ワークショップ『甲冑を着てみよう！』紹介」(長谷川)
- ・ケーブルテレビ『市民クラブTV(令和7年2月1日初回放送)』『鳴立庵物語」(富田・長谷川)
- ・NHK ラジオ横浜放送局 令和7年2月放送「春季企画展『大磯のひな人形』の紹介」(真保)

<ウェブサイト>

- ・Yahoo!ニュースエキスパート 令和6年11月14日公開「『加山又造と大磯』大磯町郷土資料館で11/17まで開催中」(富田)
- ・(株)パム たびらい編集部 令和6年11月10日対応「郷土資料館・旧吉田茂邸の紹介」(鷹野)

■ レファレンス対応

- ・令和6年4月10日／三岸節子のアトリエについて／個人(真保)
- ・令和6年4月19日／安田善次郎別邸について／個人(長谷川)
- ・令和6年4月20日／大磯で栽培された野菜について／個人(真保)
- ・令和6年5月14日／黒岩城について／個人(長谷川)
- ・令和6年5月18日／海水羊羹と寿堂について／個人(真保)
- ・令和6年5月22日／陸奥宗光別邸周辺にあった宇賀神社について／大磯町観光協会(長谷川)
- ・令和6年5月29日／寺坂で茶を栽培していた杉崎仙吉について／個人(長谷川)
- ・令和6年6月11日／松本順の海水浴場好適地条件10か条について／個人(長谷川)
- ・令和6年6月14日／加舎白雄の句碑について／個人(長谷川)
- ・令和6年6月28日／大磯の大縄釣りに関して／個人(長谷川)
- ・令和6年7月2日／赤星鉄馬の別荘について／個人(長谷川)
- ・令和6年7月26日／町内で昆虫を採集できる場所について／個人(村田)
- ・令和6年7月30日／地名淘綾の意味と由来について／個人(真保)
- ・令和6年8月8日／俳諧資料の解説について／個人(富田・長谷川)
- ・令和6年8月30日／町内の小字「稻荷森」「簾田」について／個人(真保)
- ・令和6年9月1日／高麗温泉の広告について／個人(長谷川)
- ・令和6年9月8日／左義長について／個人(真保)
- ・令和6年9月18日／小磯城について／個人(真保・國見)
- ・令和6年9月19日／アオダイショウの生態について／公益財団法人神奈川県公園協会(村田)
- ・令和6年9月27日／大磯八景音頭と大磯カーニバルについて／個人(長谷川)
- ・令和6年9月29日／清国北洋軍兵士の軍服について／個人(富田)
- ・令和6年10月30日／山本楼の場所や現在の状況について／個人(富田)
- ・令和6年10月31日／町内の横穴墓について／個人(國見)
- ・令和6年12月12日／大磯の在来植物の種類について／個人(村田)
- ・令和6年12月12日／町内の遺跡について／個人(國見)
- ・令和7年1月11日／金目観音について／個人(真保)

- ・令和7年1月11日／「サイトバラヒ」の語源などについて／個人（真保）
- ・令和7年2月14日／生沢・黒岩地区の馬頭観音について／個人（真保）
- ・令和7年2月28日／新島裏が大磯で詠んだ和歌について／個人（鷹野）
- ・令和7年3月6日／大磯の伊達宗陳邸について／個人（長谷川）
- ・令和7年3月11日／白岩神社の歩射について／個人（真保）
- ・令和7年3月19日／庚申講の言われについて／個人（真保）
- ・令和7年3月21日／博物館学芸員の仕事について／個人（富田・真保）

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの更新>

- ・休館情報を公開した。
- ・「100年前の大磯～小見助役の一日～」を更新した。
- ・「大磯町郷土資料館の学芸員を紹介します」を公開した。

<ブログの更新>

- ・年間を通して、郷土資料館は18回更新した。

<SNSの利用>

- ・X（旧Twitter）は、年間を通して81回投稿し、524件の反応があった。フォロワー数は1,503件。
- ・Facebookは、年間を通して84回投稿し、1,052件の反応があった。フォロワー数は448件。
- ・Instagramは、年間を通して40回投稿し、754件の反応があった。フォロワー数は346件。

※フォロワー数は、令和7年4月4日確認。

<刊行物のオンライン公開>

- ・『年報』及び『Report—大磯町郷土資料館だより—』の書誌データを奈良文化財研究所が管理している「全国文化財総覧」に登録した。
- ・登録を始めた10月以降のアクセス回数は9,890回、ダウンロード件数は3,531件だった。（ただし、PDFデータの登録は12月から。）
- ・全国文化財総覧に書誌データを登録したことにより、国立情報学研究所の論文・雑誌等の学術情報検索データベースであるCinii Researchに『年報』や『資料館だより』の書誌情報が掲載された。

■ 博物館資料の収集・整備・利用

<寄贈資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	寄贈者
2024-0401	R6. 4. 12	陶器小皿	1	甲斐美笛
2024-0502	R6. 5. 16	杯（大磯国府合併記念）ほか	2	鈴木一男
2024-0601	R6. 6. 4	写真（1979年日米首脳会談関係）	一括	齋藤富士夫
2024-0602	R6. 6. 6	貝標本（マメタニシ）ほか	3	福田良昭
2024-0603	R6. 6. 7	大漁旗ほか	6	大磯二宮漁業協同組合
2024-0604	R6. 6. 9	吉田茂書簡（向井忠晴宛）	1	上松恵
2024-0605	R6. 6. 14	雛人形ほか	一括	簗島尚子
2024-0702	R6. 7. 12	勾玉	1	加藤英詞
2024-0703	R6. 7. 19	大漁旗ほか	一括	大磯港 恒丸
2024-0704	R6. 7. 19	写真、羽釜などの生活道具	14	木村純子
2024-0901	R6. 9. 19	野帳ほか	50	佐川伸子
2024-0902	R6. 9. 19	御船祭の写真記録（アルバム）	1	飯田福信
2024-0903	R6. 9. 19	モリザオほか	8	大磯二宮漁業協同組合

No.	受入年月日	資料名	数量	寄贈者
2024-1001	R6. 10. 6	原安民（昔人）資料	一括	森龍朗
2024-1003	R6. 10. 30	ヒバシほか	13	木村純子
2024-1102	R6. 11. 19	吉田茂書簡（佐伯孝宛）	1	佐伯紘
2024-1103	R6. 10. 18	黒曜石ほか	一括	福田良昭
2024-1201	R6. 12. 4	大正舎関係資料	一括	大木牧
2024-1202	R6. 12. 17	テヌグイほか	2	加藤廣美
2024-1203	R6. 12. 24	タイプライター	1	鈴木コウイチ
2025-0201	R7. 2. 16	虫窪絵図、測量道具ほか	一括	服部恵子
2025-0202	R7. 2. 28	原安民（昔人）資料	一括	森龍朗
2025-0205	R7. 2. 14	杉山博久コレクション	一括	杉山博子
2025-0301	R7. 3. 5	ダイカイ（デーケー）	2	服部恵子
2025-0302	R7. 1. 11	ノボリ（ハタ）、道切り	4	福田良昭
2025-0303	R7. 3. 2	的の破片	6	歩射保存会
2025-0304	R7. 3. 14	大磯長興結社道具	一式	渡邊航也

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	移管元
2024-0503	R6. 5. 31	写真（化粧坂）	14	都市計画課
2024-0701	R6. 7. 2	航空写真ほか	8	都市計画課
2025-0101	R7. 1. 31	旧大磯町役場行政資料	3, 307	図書館

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	購入先
2025-0203	R7. 2. 17	大隈重信関係文書	4	みすず書房
2025-0204	R7. 2. 20	日本民俗大辞典	2	吉川弘文館
2025-0305	R7. 3. 26	伊藤博文関係文書	9	塙書房

<寄託資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	寄託者
2	S63. 6. 1	山高帽	一括	西小磯東区長
5	S63. 9. 2	四季耕作図 他	11	個人
17	H1. 8. 8	菊池重三郎関係資料	1, 510	個人
22	H4. 4. 1	稻荷講資料	一括	個人
23	H4. 4. 1	雛人形	一括	個人
30	H6. 4. 12	掛軸 他	一括	西小磯東区長・西小磯西区長
32	H7. 9. 12	獅子頭	2（1 対）	裡道区長
35	H13. 7. 17	屏風 他	一括	南本町区長
37	H15. 4. 1	木造神像群	12	高来神社
40	H21. 12. 24	伊藤博文書幅	1	個人
41	H22. 2. 1	大久保家資料	一括	個人
43	H23. 6. 29	掛軸	1	個人
44	H26. 8. 12	脇差	1	個人
45	H27. 3. 6	鈴木芳如関係資料	156	個人
46	H27. 4. 16	画幅「七福神」 他	2	個人
48	H27. 8. 4	わきざし 他	8	個人
49	H27. 8. 4	わきざし	1	個人
50	H28. 6. 29	袖がらみ 他	2	個人
51	H28. 4. 5	杉戸絵 他	10	国土交通省関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

No.	受入年月日	資料名	数量	寄託者
52	H28. 10. 13	国府祭 鷺舞資料	一式	六所神社
53	H29. 7. 13	城山荘関係資料	57	個人
54	H29. 10. 26	招仙閣関係資料	26	東光院
55	H29. 1. 5	日本国憲法草案	2	個人
56	H30. 9. 9	生沢二宮家資料	一括	個人
57	R2. 1. 7	安田鞆彦宛吉田茂書簡	一括	個人
58	R2. 3. 31	七賢堂関連資料	17	平塚土木事務所
59	R3. 9. 30	中島湘煙書簡	1	個人
60	R6. 5. 11	子ども会旗・七夕資料	一括	西小磯西区
61	R6. 8. 8	御船祭船山車部材（北下町）	一括	北下御船祭保存会

※寄託期間は最長2年とし、2年以降は更新を行う。現在の寄託期間は、令和8年3月31日まで。

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
「薬性論」ほか	23	特別展	R6. 6. 6 ～R6. 10 中旬	茅ヶ崎市博物館
サーフボード	1	サーフセレモニー展示	R6. 7. 6	個人
随神、屏風、掛け軸	4	高来神社夏季例大祭	R6. 7. 11 ～R6. 7. 17	南本町区
獅子頭	2	高来神社夏季例大祭	R6. 7. 13 ～R6. 7. 14	裡道区
堂後下横穴墓群 2号墓 鉄鏃等	7	資料保存委託及び資料確認	R6. 9. 12 ～R7. 3. 8	(株) 東都文化財保存研究所
シガーケース、マッチ箱	3	旧吉田茂邸調度品製作	R7. 1. 8 ～R7. 3. 21	杉山アート
DVD「吉田茂 大磯を愛した宰相」	1	町の観光推進	R7. 1. 30 ～R7. 2. 6	都市計画課
伊藤博文掛軸 ほか	7	白岩神社三月例大祭	R7. 3. 1 ～R7. 3. 2	個人

<資料の特別利用>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研究・学術	9	1	1	3	2	0	
刊行物掲載	1	0	1	1	1	0	
放映・動画配信	2	0	1	2	1	1	
ウェブ掲載	0	0	0	0	0	0	
展示	0	0	1	0	0	0	
その他	0	1	0	0	1	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研究・学術	2	1	2	2	0	3	26
刊行物掲載	0	2	2	2	4	3	17
放映・動画配信	2	1	0	0	1	0	11
ウェブ掲載	0	0	0	0	0	0	0
展示	0	0	1	1	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	3

■ 文献資料収集状況

<寄贈機関・関係団体一覧>

[大磯町]	エリザベス・サンダース・ホーム、NPO 法人大磯ガイド協会、大磯町教育委員会教育部生涯学習課、大磯町災害救援ボランティアの会、大磯町政策総務部政策課、大磯町青少年指導員連絡協議会
[茅ヶ崎市]	神奈川県衛生研究所、茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市文化振興財団、茅ヶ崎市博物館
[二宮町]	二宮町教育委員会
[秦野市]	野生動物救護の会、秦野市教育委員会
[藤沢市]	湘南考古学同好会、新江ノ島水族館、(続) 藤沢市史編さん委員会、日本大学生物資源科学部博物館、藤沢遠藤生態系保全の会、藤沢市教育委員会、藤沢市藤澤浮世絵館
[平塚市]	猪俣弥八研究会、浜岳郷土史会、平岡学園平岡幼稚園、平塚市教育委員会、平塚市博物館
[伊勢原市]	公益財団法人雨岳文庫
[寒川町]	寒川町
[小田原市]	小田原市郷土文化館、小田原市教育委員会、小田原市立中央図書館地域コーナー、小田原城天守閣、神奈川県立生命の星・地球博物館、神奈川県植物誌調査会、林美禰子
[中井町]	中井町役場
[箱根町]	箱根町立郷土資料館
[山北町]	山北町教育委員会、山北町地方史研究会
[横浜市]	岩崎博物館、神奈川県教育委員会教育局行政部行政課人権教育グループ、神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課中村町駐在事務所、神奈川県町村会、神奈川県博物館協会、神奈川県文化財課、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県立金沢文庫、神奈川県立公文書館、神奈川県立図書館、神奈川県立歴史博物館、かながわ考古学財団、神奈川県文学振興会、金子征史、県土整備局総務室、シルク博物館、JICA 横浜海外移住資料館、玉川文化財研究所、鶴見大学博物館学芸員課程、鶴見大学文化財学会、馬事文化財団、睦合文化財株式会社、横浜開港資料館、横浜市教育委員会、横浜市技能文化会館、横浜植物会、横浜市歴史博物館、横浜都市発展記念館、横浜みなと博物館、有隣堂
[川崎市]	川崎市市民ミュージアム、川崎市立日本民家園
[鎌倉市]	鎌倉考古学研究所、斉藤建設、鶴岡八幡宮社務所
[横須賀市]	観音崎自然博物館、横須賀市教育委員会、横須賀市自然・人文博物館、横須賀建築探偵団
[葉山町]	葉山しおさい博物館、葉山町教育委員会
[厚木市]	あつぎ郷土博物館、厚木市教育委員会文化財保護課、野の花出版社
[相模原市]	相模原市教育委員会、大成エンジニアリング株式会社
[逗子市]	逗子市教育委員会
[真鶴町]	真鶴町立中川一政美術館
[清川村]	丹沢自然保護協会
《県外》	
[茨城県]	稲敷市立歴史民俗資料館、土浦市立博物館
[栃木県]	宇都宮共和大学都市経済研究センター、小山市立博物館
[埼玉県]	川越市立博物館、高麗 1300（日本高麗浪漫学会）事務局、高麗文康、埼玉県立川の博物館、飯能市立博物館、立正大学博物館
[千葉県]	伊能忠敬記念館、国立歴史民俗博物館、市立市川考古博物館、市立市川自然博物館、市立市川歴史博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、千葉県立中央博物館、飛ノ台史跡公園博物館、船橋市郷土資料館、松戸市立博物館、茂原市教育委員会
[東京都]	吾妻考古学研究所、板橋区立郷土資料館、イビソク東京本社、ウェッジ、大田区教育委員会、大田区立郷土博物館、お札と切手の博物館、KADOKAWA、外務省外交史料

	館、学習院大学学芸員課程委員会、学校法人明治学院、クマヒラ・ホールディングス、国際文化財、四門、衆議院憲政記念館、昭和館、成城大学常民文化研究会、宝島社、玉川大学教育博物館、多摩美術大学アートアーカイヴセンター、多摩美術大学美術館、中央区教育委員会、調布市郷土博物館、千代田区立日比谷図書文化館、東京家政学院生活文化博物館、東京家政大学博物館、東京都江戸東京博物館、トキオ文化財株式会社、豊島区立郷土資料館、豊島区立鈴木信太郎記念館、豊島区立雑司が谷旧宣教師館、中川俊宏、日本博物館協会、パスコ、PHP 研究所、府中市郷土の森博物館、不二出版、文京ふるさと歴史館、堀文子記念館「堀文子ホルトノキの会」、町田市立自由民権資料館、明治大学学芸員養成課程、明星大学考古学研究部、森ビル株式会社、靖国神社社務所、郵政博物館、右文書院、立正大学ロータスギャラリー特別展示室、ロクリン社、早稲田システム開発株式会社、ワック株式会社
[静岡県]	伊豆の国市、伊豆の国市教育委員会、静岡県立美術館、沼津市歴史民俗資料館、浜松市博物館、三島市郷土資料館
[愛知県]	安城市歴史博物館、一宮市博物館、一宮市三岸節子記念美術館、とこなめ陶の森、豊橋市美術館友の会
[山梨県]	甲斐市教育委員会、南アルプス市教育委員会
[群馬県]	技研コンサル株式会社、渋川市教育委員会
[長野県]	茅野市教育委員会、茅野市八ヶ岳総合博物館、茅野市神長官守矢史料館
[福島県]	只見町史編さん委員会、ただみ・モノとくらしのミュージアム
[新潟県]	十日町市博物館
[三重県]	鈴鹿市考古博物館
[和歌山県]	和歌山県立自然博物館、和歌山県立文書館
[大阪府]	大阪市立自然史博物館、創元社、富田林市教育委員会
[兵庫県]	人と防災未来センター、むろのつ編集部
[奈良県]	奈良文化財研究所企画調整部文化財情報研究室
[京都府]	向日市文化資料館
[広島県]	広島県市町公文書等保存活用連絡協議会
[高知県]	高知県牧野記念財団
[岩手県]	奥州市牛の博物館
[青森県]	青森県立郷土館
[北海道]	帯広百年記念館、沙流川歴史館、美幌博物館、平取町教育委員会文化財課
[熊本県]	熊本博物館、熊本市現代美術館
[佐賀県]	有田町歴史民俗資料館

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動

■ ミニ企画展

ミニパネル展「吉田茂と“バカヤロー解散”」

期 間／令和6年4月2日（火）～9月29日（日）

開場日数／151日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／9,745人

趣 旨／首相・吉田茂のエピソードとしてあまりにも有名な昭和28年(1953)の“バカヤロー解散”。「バカヤロー」発言に至る経緯や様子、そのほかの特徴的な衆議院解散などについて紹介する。

内 容／

(1) 「バカヤロー」発言に至る経緯

昭和28年(1953)2月28日衆院予算委員会における吉田の「バカヤロー」発言に至った経緯を、第4次吉田内閣の動向や問題などを併せて紹介する。

(2) 各紙の取り上げた「バカヤロー」発言

新聞各紙が取り上げた「バカヤロー」発言を紹介。併せて、麻生和子が自著『父 吉田茂』

で回想するエピソードなどについても取り上げる。

(3) “バカヤロー解散”へ

「バカヤロー」発言を受けての野党の動向、解散の様子を新聞などから取り上げる。併せて、第5次吉田内閣へ向けた吉田の動向などを紹介する。

(4) まだまだあった、〇〇解散

バカヤロー解散以外の特徴的な俗称がつけられた解散について取り上げる。(なれ合い解散、抜き打ち解散など)

(担当) 鷹野

ミニパネル展「吉田茂の書」

期 間／令和6年10月2日(水)～令和7年3月30日(日)

開場日数／147日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／13,975人

趣 旨／吉田茂の揮毫は、当館所蔵の吉田茂関連資料にとどまらず、大磯町内外に数多く現存する。

吉田の字はどんな形をしているのか、どんなことを書いているのか、どんな経緯で書いたのか。本展示では、そうした吉田茂の揮毫を紹介することで、案外身近にある吉田の書に親しむ機会を提供する。

内 容／

(1) 吉田茂の字

導入として、吉田茂がどのような字を書いていたのか、吉田の書簡を通じて紹介する。また、吉田の字が達筆であったため、手紙を受け取った人が読めなかったといったエピソードなども併せて取り上げる。

(2) 漢学と吉田茂

吉田茂揮毫の色紙などには、漢籍由来の内容が多い。吉田茂の漢学の知識を養った耕余塾について紹介するほか、耕余塾在籍時の吉田の作文なども併せて取り上げる。

(3) 大磯で見られる吉田の書

吉田の字は、大磯町内でも様々確認することができる。ここでは、大磯小学校や大磯中学校の表札、大磯警察署へ贈られた揮毫、「五賢堂」の額などを紹介し、吉田の字を身近に感じてもらう。また、大磯中学校の表札の「大磯」の字が、町内のマンホールや「議会だより」の表紙に使用されていることも紹介する。

(4) こんなところにも吉田の書

吉田の字が大磯のみならず全国で確認できることを紹介する。関門隧道の表札や、伯爵牧野伸顕夫妻の墓碑、高知市立大津小学校に残る吉田の扁額とそれを依頼したことが分かる書簡(当館蔵・吉田茂宛野村茂久馬書簡)などを取り上げる。

〔関連行事〕

講演会「吉田茂が学んだ耕余義塾の教育」

日 時／令和7年3月16日(日)13時30分～15時00分

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／大磯町文化財専門委員 細井 守 氏

参加者数／33人

内 容／吉田茂が幼少期に在籍し、漢籍を学んだ耕余義塾について、その教育内容や吉田茂と塾生との交流などをお話しいただいた。

(担当) 鷹野



■ 講演会

七賢堂特別開扉講演会「手紙から見る吉田茂」

日 時／令和 7 年 2 月 9 日（日）13 時 30 分～15 時 00 分
場 所／県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区 管理休憩棟
講 師／國學院大學文学部史学科准教授 柴田 紳一 氏
参加者数／42 人
内 容／吉田茂の書簡を主軸に、吉田茂と彼の周辺の政治家とのやりとりなどを御講演いただいた。
（担 当）鷹野



旧吉田茂邸建築講演会・見学会「吉田茂邸を手掛けた建築家

木村得三郎と吉田五十八」

日 時／令和 7 年 2 月 23 日（日・祝日）13 時 30 分～15 時 00 分
場 所／県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区 管理休憩棟・旧吉田茂邸
講 師／建築史家・東海大学教授 小沢 朝江 氏、NPO 法人大磯ガイド協会
共 催／県立大磯城山公園、NPO 法人大磯ガイド協会
参加者数／60 人
内 容／旧吉田茂邸の設計に関わった二人の建築家、木村得三郎と吉田五十八のそれぞれの建築の特徴等に関する講演を行い、講演終了後、旧吉田茂邸の見学を実施した。
（担 当）鷹野



■ 調度品等の整備

<調度品製作委託>

旧吉田茂邸調度品製作委託

業務内容／旧吉田茂邸の銀の間に展示するシガーケース等を製作した。
契約期間／令和 6 年 11 月 12 日 ～令和 7 年 3 月 21 日
請 負 者／杉山アート

■ 博物館資料の整備

<収蔵資料整備>

刀剣点検

業務内容／吉田家旧蔵資料のうち、刀剣「兼定」について点検を行った。
契約期間／令和 6 年 11 月 26 日
請 負 者／小野敬博

<館外資料調査>

国立国会図書館所蔵吉田茂関係資料の複写撮影

業務内容／国立国会図書館憲政資料室所蔵の安斎正助関係文書のうち、日記 1 点を複写した。
実 施 日／令和 7 年 2 月 26 日

■ 刊行物

<チラシ・パンフレット>

- ・旧吉田茂邸案内パンフレット
- ・七賢堂特別開扉講演会チラシ
- ・建築講演会・見学会チラシ
- ・学芸講演会チラシ

A4 判両面 三つ折 10,000 部（令和 6 年 6 月刊）

A4 判片面 900 部（令和 7 年 1 月刊）

A4 判片面 900 部（令和 7 年 1 月刊）

A4 判片面 900 部（令和 7 年 1 月刊）

■ 視察・見学対応

<視察・見学の月別件数> 単位：団体

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
視 察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
見 学	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	6

<見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・町立学校新採用等教職員夏季研修会／7 月 26 日／15 人（富田）
- ・河野太郎大臣と 4 か国大使見学／8 月 18 日／30 人（長谷川）
- ・県県土整備局／11 月 9 日／25 人（鷹野）
- ・松蔭大学／12 月 7 日／10 人（北水）
- ・県立大磯高等学校 2 年生／12 月 24 日／4 人（鷹野）

■ 取材対応

<刊行物>

- ・日本経済新聞 令和 6 年 4 月 11 日対応「旧吉田茂邸の紹介」（鷹野）
- ・建通新聞 令和 6 年 7 月 17 日取材「旧吉田茂邸のモデル実証事業について」（富田）
- ・東京新聞 令和 7 年 2 月 22 日掲載「旧吉田茂邸建築講演会・見学会」（真保）

<ウェブサイト>

- ・大磯・平塚のタウンメディア「西湘 Lover」 令和 6 年 5 月 2 日対応「旧吉田茂邸の紹介」（鷹野）
- ・(株) パム たびらい編集部 令和 6 年 11 月 10 日対応「郷土資料館・旧吉田茂邸の紹介」（鷹野）
- ・(株) craft. 令和 7 年 1 月公開「オリックス（株）提供インスタグラムコンテンツ『Smile On』における旧吉田茂邸の紹介」（富田）

■ レファレンス対応

- ・令和 6 年 4 月 17 日／旧吉田茂邸内展示中の掛軸の解説について／個人（鷹野）
- ・令和 6 年 4 月 18 日／吉田茂の愛犬ケアーン・テリアについて／個人（鷹野）
- ・令和 6 年 5 月 9 日／旧吉田茂邸内展示中の掛軸の意味について／個人（鷹野）
- ・令和 6 年 6 月 9 日／向井忠晴宛吉田茂書簡の解説／個人（鷹野）
- ・令和 6 年 7 月 23 日／吉田茂と生家竹内家について／個人（長谷川・鷹野）
- ・令和 6 年 12 月 6 日／「戦争に負けて外交に勝った歴史がある」という言葉などについて／個人（鷹野）
- ・令和 6 年 12 月 7 日／吉田茂が GHQ を Go home, quickly. と揶揄したと言われる根拠について／個人（鷹野）

学芸員の調査・研究・普及活動

<通年の活動>

- ・神奈川県博物館協会理事／年間（北水）
- ・東海地区博物館連絡協議会監事／年間（北水）
- ・たばこと塩の博物館主催「村井勉強会」メンバー／年間（富田・長谷川）

<庁内事業への協力>

- ・鳴立庵展示ケースの展示／令和6年7月19日、12月19日（富田・長谷川）
- ・「大磯めぐり」特別研修／令和6年7月16日（富田）
- ・大磯町青少年指導員連絡協議会自主事業「ナイトハイク&ナイトミュージアム」／令和6年7月27日（北水）
- ・「大磯まつり」におけるクイズパネル展示／令和6年11月9日（長谷川）

<学校教育との連携>

郷土資料館の見学・学習指導

講義名	人数	月日	場所	担当
国府小学校3年生校外学習	89	4月18日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
こいそ幼稚園	23	4月23日	県立大磯城山公園 (ひかりの広場)	—
国府小学校生沢分校見学	3	5月2日	郷土資料館	—
こいそ幼稚園	66	5月14日	県立大磯城山公園 (ふれあいの広場)	—
国府小学校2年生遠足	101	5月16日	郷土資料館	富田・ 真保・ 長谷川
国府中学校	92	6月7日	郷土資料館・旧吉田 茂邸	—
こいそ幼稚園	22	6月25日	県立大磯城山公園 (ふれあいの広場)	—
町立学校新採用等教職員夏季研修会	15	7月26日	郷土資料館・旧吉田 茂邸	富田
県立大磯高等学校1年生地域探訪	約270	10月22日	郷土資料館・旧吉田 茂邸	—
湘南桜ヶ丘幼稚園	50	10月24日	県立大磯城山公園 (ふれあいの広場)	—
国府中学校1年生総合学習	約45	11月6日	郷土資料館・旧吉田 茂邸	鷹野・真 保・長谷 川・村田
大磯中学校1年生総合学習	47	11月15日	郷土資料館	—
二宮めぐみ幼稚園	37	11月28日	県立大磯城山公園 (ふれあいの広場)	—
松蔭大学「地域文化論Ⅱ」	約10	12月7日	郷土資料館・旧吉田 茂邸	北水
県立大磯高等学校2年生「歴史総合」	4	12月24日	旧吉田茂邸	鷹野
大磯小学校3年生社会科「かわる道具と くらし」見学・体験学習	—	1月15日・ 16日	郷土資料館	鷹野・ 真保・ 長谷川

講義名	人数	月日	場所	担当
こいそ幼稚園	42	1月17日	県立大磯城山公園 (ふれあいの広場)	—
浜竹幼稚園	54	2月7日	県立大磯城山公園 (ふれあいの広場)	—
国府保育園	69	2月28日	県立大磯城山公園 (ふれあいの広場)	—

学校等への講師派遣

講義名	人数	月日	場所	担当
国府小学校・中学校生沢分校総合学習	18	6月7日	国府中学校生沢分校	村田
成城大学「文化史概論Ⅱb」ゲストスピーカー	100	11月5日	成城大学	真保
成城大学「人文地理学b」ゲストスピーカー	82	12月19日	成城大学	真保

<各種団体との連携・協力>

各種団体への講師派遣

名称	月日	場所	担当
令和6年度青少年おもしろ講座 「さがせ！ちりめんモンスター」	8月7日	生涯学習館	高山
県立大磯城山公園 「あつまれ！アメリカザリガニ一斉捕獲大作戦」	8月21日	県立大磯城山公園 (不動池)	村田
日本民家園ボランティア炉端の会学習会	9月4日	かわさき宙と緑の科学館	真保
文化財調査「塩海山花月院知足寺所蔵百万遍念仏大数珠調査」	10月2日	塩海山花月院知足寺	富田
明治記念大磯邸園秋のイベント 「政界の奥座敷 大磯～大隈重信と陸奥宗光の歴史探訪～」	10月5日	明治記念大磯邸園	長谷川
大磯コミュニティカレッジ「大磯の左義長について」	1月30日	町立図書館	真保
一宮市尾西歴史民俗資料館文化財講座1「歴史文書を学ぶ」	2月23日	一宮市尾西歴史民俗資料館	富田
二宮町民大学講座「隣の町を歩いてみよう」	3月7日	旧吉田茂邸ほか	鷹野
大磯コミュニティカレッジ「西小磯の七夕について」	3月27日	町立図書館	真保

<学会・研究会との連携>

研修会・会議出席等

名称	月日	場所	担当
令和6年度神奈川県博物館協会 第1回役員会・総会	5月10日	県立歴史博物館	北水
令和6年度神奈川県博物館協会 第1回研修会	5月10日	県立歴史博物館	北水・ 真保・ 長谷川
令和6年度全国博物館長会議	7月3日	文部科学省	北水

名称	月日	場所	担当
全国歴史民俗系博物館協議会 令和6年度年次集会	7月4日	国立歴史民俗博物館	鷹野
令和6年度神奈川県博物館協会 第2回役員会	11月1日	県立歴史博物館	北水
令和6、7年度歴史民俗系博物館専門職研修会	11月11日 ～15日	国立歴史民俗博物館	真保
令和6年度神奈川県博物館協会 第4回研修会	12月13日	よこはま動物園ズー ラシア	真保
県高等学校教科研究会社会科部会歴史分科会日本 史研究推進委員会例会	1月15日	県立大磯高等学校	富田・ 鷹野
全史料協関東部会第325回定例研究会	1月21日	神奈川大学	真保

<執筆>

北水 慶一

2024. 9. 「《新収蔵資料》鯨ひげ」『Report－大磯町郷土資料館だより』44 大磯町郷土資料館

富田 三紗子

2024. 9. 「関東大震災から100年－大磯町外の記録から見る大磯の被害－」
『Report－大磯町郷土資料館だより』44 大磯町郷土資料館
2024. 10. 『加山又造と大磯』 大磯町郷土資料館
2025. 3. 資料館資料23『大磯町助役日誌（大正九年一月～一二月）』 大磯町郷土資料館

鷹野 真子

2024. 9. 「吉田茂の妻・雪子 平和への思い」
『大磯町郷土資料館年報』第36号 大磯町郷土資料館

真保 元

2024. 7. 「多摩川の砂利採取場を語る－高津地域における遊び場を視座に－」
『山と川の暮らし』川崎市立日本民家園
2024. 8. 「野外博物館における小学校の体験学習：第163回 日本民具学会研究会」
『民具研究』第166号 日本民具学会
2024. 9. 「神奈川県中郡大磯町の御船祭をめぐる予備的考察：船形山車を取りまく現状を事例に」
『現在学研究会』第14号 現在学研究会
2025. 1. 「古民家野外博物館における常設展示の変遷
－川崎市立日本民家園の年中行事展示を事例に－」
『民具マンスリー』第57巻10号 神奈川大学日本常民文化研究所
2025. 3. 「現代における銭湯の利用への一考察－サードプレイスを視座に－」
『常民文化』第48号 成城大学常民文化研究会
2025. 3. 「川崎市立日本民家園所蔵伊藤家文書「農作物日記」－翻刻と解説－」
『常民文化』第48号 成城大学常民文化研究会
2025. 3. 「府中大國魂神社くらやみ祭における露店風景の一考察－世相を読み解く資料として－」
『武蔵府中を考える：新府中市史研究』第6号 府中市史編集委員会
2025. 3. 「大磯町郷土資料館春季企画展「大磯のひな人形」を開催して－展示紹介にかえて－」
『現在学研究』第15号 現在学研究会
2025. 3. 『大磯のひな人形：春季企画展』 大磯町郷土資料館

長谷川 明香

2024. 5. 「明治初期における浅草公園と見世物興行」
『駒澤大学大学院史学論集』第54号 駒澤大学大学院日本史学学生研究室

大磯町郷土資料館年報

令和 6 年度

- ◇ 大磯町郷土資料館年報 第 37 号
- ◇ 令和 7 年（2025）9 月 15 日発行
- ◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660